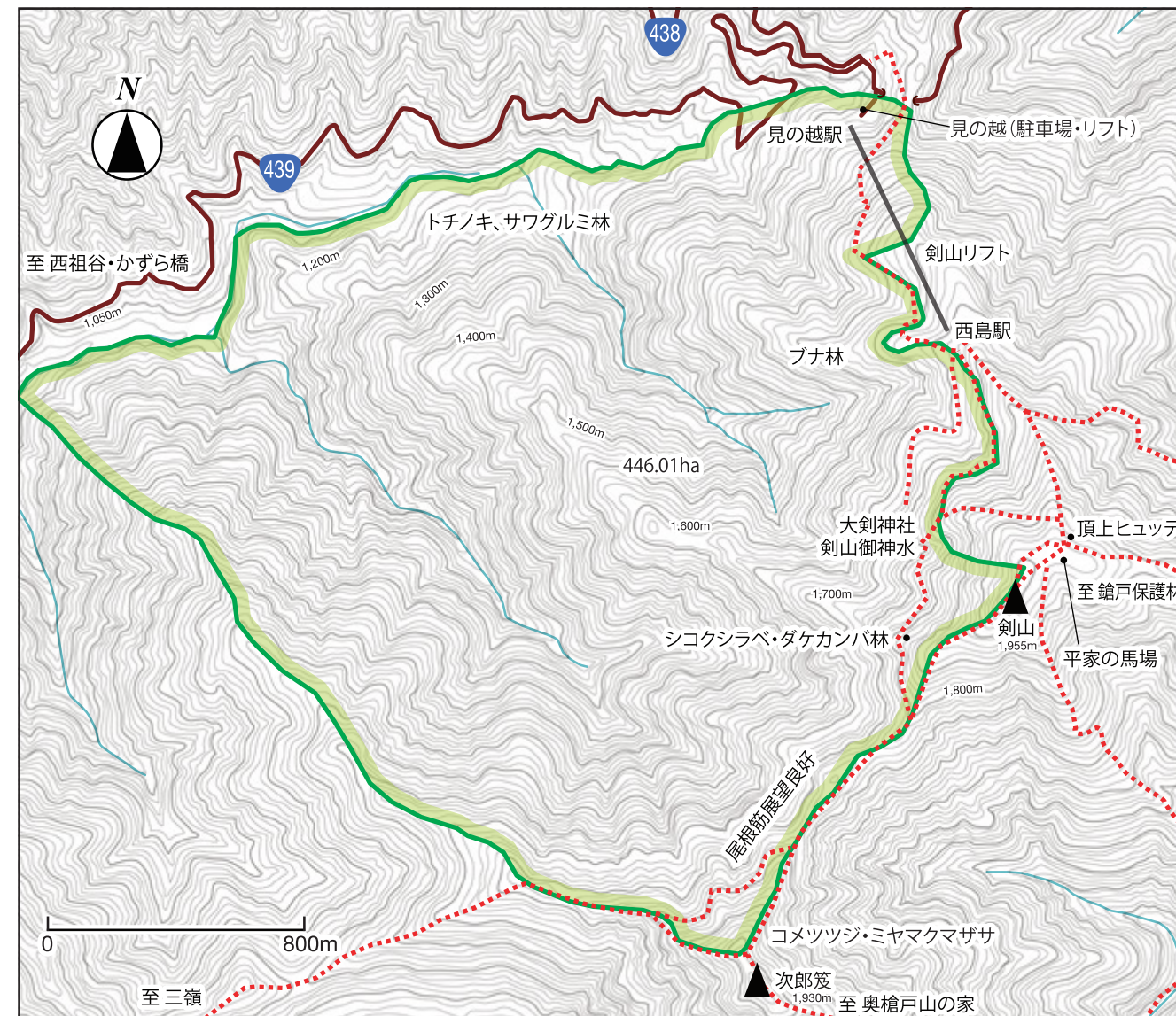


つるぎ さん 剣山植物群落保護林

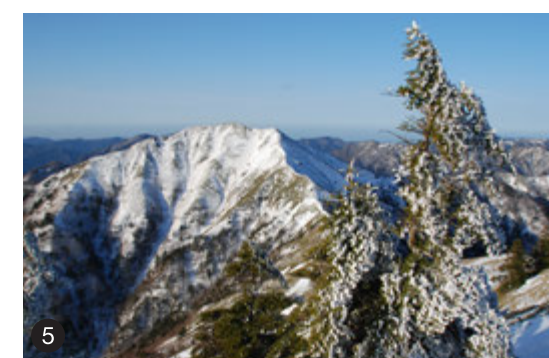
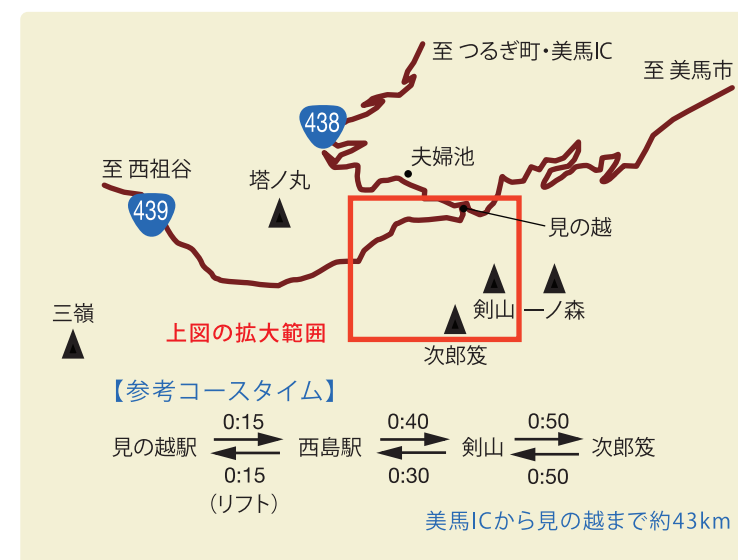
日本百名山の一つである剣山(1,955m)と次郎笈(1,930m)との稜線の北側に位置し、祖谷川の源流部にあります。

面積は約450ヘクタールで、標高約1,050mから山頂・尾根部にかけて、多様な森林が連続して分布しており、標高の低い川沿いにはサワグルミやトチノキなどの溪畔林が見られ、中腹にはブナやミズナラ、ウラジロモミなどの冷温帯の樹種が多く生育しています。

また、剣山や次郎笈の山頂付近には、シコクシラベやダケカンバなどの亜寒帯の樹種が生育し、稜線にはミヤマクマザサの草原が広がっています。この森は昭和30年に徳島営林署(現徳島森林管理署)が買い入れた天然林で、当時は東祖谷名頃集落が森林開発の前線基地となっていたため、周囲の森林は大規模に伐採されましたが、この場所はかろうじて残された貴重な原生林です。 写真:新緑の剣山(左)と次郎笈(右)



①キレンゲショウマ(8月)。「天涯の花」と呼ばれる剣山の代表的な花で、かつては絶滅が危惧されていましたが、現在ではシカ除けネットの中で回復しつつあります。②ニホンカモシカ。国の特別天然記念物で剣山周辺に生息しています。③クマタカ。森林生態系の頂点に位置している猛禽類です。この森には多種多様な動物が生息しており、この一帯は緑の回廊・剣山地区にも指定されています。



④上空から見た剣山。剣山は西日本第二の標高(徳島県の最高峰)を誇り、山頂には平家の馬場といわれるササ原が広がっています。⑤残雪が残る次郎笈とシコクシラベの樹氷(3月)。山頂付近では四国で貴重な亜寒帯の樹木を見ることができます。